

## 令和元年度 第3回日南町総合教育会議 会議録

招集年月日	令和2年2月26日
招集場所	日南町役場 第2会議室
開 会	午前10時30分 教育長
出席委員	中村町長 伊田教育長 須田教育委員 中村教育委員 中島教育委員
欠席委員	長谷川教育委員
オブザーバー	丸山副町長、木下総務課長、村上教育次長、吉田日南小学校長、吹野日南中学校長、段塚保育園長、福田社会教育室長、三上学校教育室長

議 事 日 程		議 事 の 経 過
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
あいさつ  協議	教育長 町長  教育長  次長	<p>開会</p> <p>今日は、3回目ということで、教育振興基本計画とコミュニティスクールについて、皆さんの忌憚のないご意見を頂き、前に進めていきたい。</p> <p>○「日南町教育振興基本計画」について</p> <p>教育課の方で、教育大綱の作成、それを受けての教育振興基本計画の案を示しながら教育委員会でも複数回にわたり議論している。教育大綱と教育振興基本計画の関連を明確にという意見も頂いている。今までは教育振興基本計画を大綱とみなすという形で日南町は取り組んでいたが、新たに町長からの方針が定まったので、教育大綱を受けた教育振興基本計画という形に整理すべきではないかと思っている。新たな大綱の作成にあたって、基本理念や重点方針にかかる思いを町長に書いて頂きたい。コンパクトな形で大綱をまとめていき、それを受けて日南町教育振興基本計画に整理していくということで提案したい。日南町教育振興基本計画（案）について、概略版については県の基本計画に沿った形でまとめた。5年前の基本計画の項目立てを参考にして新たなものを策定している。前回は総合計画に基づいて策定されたが、今回は総合計画と教育大綱を踏まえて策定した。指標については、教育委員会でもいろいろ</p>

	議論をしてきたが、この場でも意見を頂いて最終的に作成したい。
町長	大綱の位置付けについて、従来は、基本計画イコール大綱であると整理してきたが、基本計画と連動はするが、大綱は大綱で大枠の在り方としたいがいかがでしょうか。
教育委員	教育の大筋を定めるのが大綱で、設計図が振興計画と考えるので、賛同する。
町長	では、この方向性で進めたい。それぞれの年代で、本来あるべき人として学んでいかないといけない部分はきちんとしなくてはいけないと思う。学力だけでなく人との関わりを大事にしていくところがこの町の良さ。みなさん子どもの姿をよく見られているので、良いところをどんどん伸ばす、持っている力を伸ばすことが基軸になっても良いと思う。小学校のふるさと教育の報告会もあったが、地域のことを知ってもらうことが更に大切になる。そういった理念の中で基本計画を作って頂きたい。
教育委員	前回と大きく変わったのは「保小」という文言が出てきていること。保育園時代に人として基礎的なものを持って小学校に上がっていく、それが中学校へと進んでいくという本来の姿を今一度見直そうということが盛り込まれている。やはり一貫教育の中でスタートが保育園でないといけない。コミュニティ・スクールについても明確に位置付けている。学校の運営については、新しい時代に即したものを時期を逃さずに対応していく内容になっている。指標については教育委員会の中でも意見が分かれた。
町長	前回指標を作られて、その結果の整理の場はありましたか。
次長	年度毎に「点検・評価」を行っている。
町長	目標に高い数字を挙げて、それに向けて頑張ることも大切。背景も踏まえて、あえて高めにすることも戦略的にあって良い。
教育委員	地域の力を借りないといけない時代。子ども達はその土壌で育っている。小中一貫教育でも中では一生懸命やっても、出来ていないじゃないかというような意見が出るようではいけないので、町民にこういったことをすると発信していかないといけない。町民は学校のことがよくわからない、子ども達も出かける機会が少なくなっている中で、みんなでやっていかないといけない。
町長	人が減り、学校が一つになり、その背景はわかるが、いつまでもそれを理由にしても前に進まない。そういう時代に入ったということを認識してもらうことが大事。地方創生の一つのキーワードは教育だと思うので、情報発信していかないといけない。
教育委員	課題を、地域と学校と家庭で共有しなければ改善の余地はない。基本計画を策定することはとても大切

	<p>なことだが、取り組み・指針として具体的になっていかなければいけない。関わる人は関わる、関わらない人は関わらない、関わらない人が多いがために成果も上がらない。共有しなければ成果が上がらないと強く感じる。</p>
町長	<p>発信はしているが情報がいきわたっていないと思う。発信して町民に理解してもらうまでが発信者の責任。定期的に発信し続けることの積み重ねが大切。後からご意見頂いて基本計画を修正するということはスケジュール的に可能か。</p>
次長	<p>3月いっぱい策定して、4月からスタートです。</p>
町長	<p>基本計画の指標の数値目標の書き方が、5年間のトータルなのか1年間なのか明確にした方がよいのではないか。指標についてはまたご意見頂いて3月の教育委員会で最終的な確認をして頂きたいがよろしいですか。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
	<p>○コミュニティ・スクールの導入に向けて</p>
町長	<p>コミュニティ・スクールの導入について事務局から説明をお願いします。</p>
次長	<p>令和4年度に正式に導入をすることを目指し、来年度から準備を進めていきたい。地域の方の理解が必要なので、説明や勉強会で下地を作って本格的にスタートさせる必要がある。来年度から少しずつ固めていきたい。</p>
町長	<p>委員のみなさん、いかがですか。</p>
教育委員	<p>県西部において日南町は既に後発。動きを加速させないといけない。</p>
教育委員	<p>急がないといけないが、浸透させてからでないと、見切り発車ではなくきちんとしなくてはいけない。現場も大変な状況にあって、必要だと思うが、他がしているからしないといけないということではない。</p>
教育委員	<p>やるということを目的にしてスタートすることはいかがなものか。慌ててやるより、しっかりと。</p>
町長	<p>慌てるという意味ではないが、作るために助走期間は必要。</p>
教育委員	<p>検討する人を作っておかないといけない。研修を始めたばかりなので、手順を踏んでスタートは切っていないといけない。導入がいつからかというのは、また別の話。</p>
町長	<p>進捗状況をみながらになるが、後発なので前例がある。前例をしっかりと理解しながら日南町の仕組み作</p>

		りを考えていかないといけない。やらないといけないという方向性だと思う。それが社会教育も含めた形の中でのこれからの教育の在り方ではないか。
	教育委員	失敗例も全国には多くあるということ。機能するような組織を作っていくためにスケジュールを組む部署を検討してスタートさせなくてはならない。
	町長	地域に学校が無くなったので、知らないというのが前提にある。地域に合った情報発信の仕方を考えていかなくてはならない。住民に知って頂くというところまでしないと機能するコミュニティ・スクールにはならない。
	教育委員	一つ提案したいが、町の行事で町歌を歌う場面があるが、歌える町民が少なくなっている。聴く機会を作らないと忘れてしまう。例えば防災無線で流すなど考えていかないと、せっかくの町歌がだんだん廃れている。
	町長	考えたい。コミュニティ・スクールについては、スタートするというだけでよいですか。
	教育委員	はい。
	教育長	学校運営に関わる話なので、保育園も園経営に地域の人がどう関わっていくか考えていくべきと思う。保小中一貫と言いながら、途絶えている状況もあって、保育園から地域との連携や協力が育っていくと無理なく子どものためにという土壌ができるのではないか。
	教育委員	日南バージョンで保育園を入れたコミュニティ・スクールにしたらどうか。大事なこと。
	町長	同じメンバーなので、保育園を入れても問題ない。小・中にこだわらなく良い。ご意見ありがとうございます。コミュニティ・スクールについてはその方向で進めていきたい。
その他	学校教育室長	今年度、3学期に実施した標準学力調査、中学校の英語検定試験の結果を配布している。課題はたくさんあるが、経年変化をみると、学年によっては伸びの傾向がみられるところもある。落ち込みのみられるところは学校で更に充実を図って頂く。標準学力調査と併せて、総合質問紙による調査もしている。小学校については2年生から自己肯定感の落ち込みがみられる。ソーシャルスキルが4年生を境に標準スコアから落ち込んでいる。このあたりが学力向上の鍵になっているのではないかと見て取れる。社会参画について、子ども達へのアンケートでは、良い数字も出ているが、標準スコアと比較するとマイナスの傾向があり、地域の行事に参加したりはあるが、もっといろいろな形で社会参画を進めることを考えていく必要がある。例えばボランティア活動などを教育の中でも取り入れていく必要がある。学校の

町長	<p>方もアンケートの結果で家庭学習がなかなか伸びないという悩みを持っている。今後更に取り組みを進めていく必要がある。英検については中学3年生で3級を目標にしている。今年度は3級合格者が3年生で8名で、5割達成に少し届かなかった。</p> <p>最初の方は3級は難しいではないかと言われていたが、こういうふうに合格率が高くなってきているということは、子どもの挑戦も生まれて、良い結果が出ていると思う。</p>
中学校長	<p>3年前までは、個人負担で受検していたので、学校としても受けるように言い辛かったが、町で全額負担してもらって全員が受検することになり、英検にむけて頑張る子どもも出てきたり、英検の勉強からシアトルに行きたいと繋がったりして、助かっている。</p>
町長	<p>以上で令和元年度第3回総合教育会議を閉じます。</p>

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会教育委員